

歓喜の歌が、40年の歴史と未来をつなぐ 日本を代表する歌手陣と新進気鋭の指揮者が初登場！ 湖国滋賀 師走の風物詩 人類の最高傑作！心に響く歓喜の歌！



1984年に第1回を開催したKEIBUN第九演奏会は、コロナ禍の中断を乗り越え、2026年に40回目となる大きな節目を迎えます。これまでのべ1万人が参加した公募合唱団、KEIBUN第九合唱団とプロフェッショナルな演奏家が心をひとつにして紡ぐ「歓喜の歌」は、世代を超えて受け継がれる湖国師走の風物詩として、多くの感動をお届けしてまいりました。この特別な舞台を指揮するのは、次世代の日本の音楽界を担う指揮者、松本宗利音。現在は関西の老舗オーケストラ、大阪フィルハーモニー交響楽団の指揮者として、その手腕への期待が大きい若きマエストロです。さらに、小林沙羅、林美智子、錦織健、加来徹という日本屈指のソリストが集結。KEIBUN第九合唱団とともに、壮大な音楽世界を創り上げます。クラシック音楽の歴史に輝く不朽の名作にとどまらず、人類が生んだ最高の芸術作品である、ベートーヴェンの交響曲第9番。2027年にはベートーヴェン没後200年を迎える今、最終楽章で高らかに響き渡る「歓喜の歌」は、EUの国歌でもあるように、国境や世代をこえ、人類愛や平和をうたったメッセージとして、今も多くの人々に感動をもたらす魅力を持っています。奇しくも開館40周年を迎えた守山市民ホールとともに、40年の感謝を胸に、これまで支えてくださったみなさまへ、そして未来へ受け継がれる新たな一歩として。歴史と感動が交差する記念すべき演奏会を、ぜひ会場でお楽しみください。



松本宗利音 (指揮)

確かな構力と瑞々しい感性で頭角を現している期待の新星。2025年4月大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者に就任。2019年から2022年まで札幌交響楽団指揮者として北海道内はもちろん各地で共演を重ねる。これまでに、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京交響楽団、新日本フィル、東京シティ・フィル、神奈川フィル、名古屋フィル、京都市交響楽団、仙台フィル、群馬交響楽団、九州交響楽団などからも次々に招かれ共演を重ねる。大阪府豊中市出身。

発売日

●KEIBUN友の会

KEIBUN友の会ネット会員 ねっとも優先受付 9/8(火) 9:30

KEIBUN友の会 電話優先受付 9/10(木) 9:30

●一般発売 9/13(日) 10:00

《独唱》

小林沙羅 (ソプラノ)



東京藝術大学及び同大学院修了。2010～15年ウィーンとローマにて研鑽を積む。2012年ブルガリア国立歌劇場「ジャンニ・スキッキ」で欧州デビュー。野田秀樹演出「フィガロの結婚」、藤原歌劇団「カルメン」、岡田利規演出「夕鶴」、佐渡裕指揮「ドン・ジョヴァンニ」など話題作に続々出演。今年11月にはデビュー20周年記念リサイタルを開催。第27回出光音楽賞、第20回ホテルオークラ賞受賞。日本音楽アカデミー会員。藤原歌劇団団員。大阪芸術大学准教授。

林 美智子 (アルト)



新国立劇場オペラ研修所第1期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学。2003年国際ミトロプーロス声楽コンクール最高位、第5回ホテルオークラ音楽賞受賞。新国立劇場等を中心に数多くのオペラに出演、最近では自らオペラをプロデュースするなど幅広く活動を行っている。CDは「地球はマルイゼ〜武満徹:SONGS〜」など3枚をリリース。大阪音楽大学特任准教授及び日本大学芸術学部声楽講師。

錦織 健 (テノール)



国立音楽大学卒業。文化庁オペラ研修所第5期修了。文化庁在外研修員としてミラノに、五島記念文化財団の留学生としてウィーンに留学。1986年のデビュー以後、数多くのオペラ公演に出演、全国各地でリサイタルを行いオペラ・プロデュースも手掛けた。NHK紅白歌合戦への出演や、FMラジオのパーソナリティを6年間務めるなど幅広く活動。2024年国立音楽大学同調会より第7回くにたち賞大賞を受賞。2026年デビュー40周年を迎えた。

加来 徹 (バリトン)



東京藝術大学大学院修士課程を首席修了。バロックから現代音楽、ミュージカルまで幅広いレパートリーを誇る。パッハ・コレギウム・ジャパンの公演では、カンタータのソリストや「エアリス」のタイトルロールを務め、「マタイ受難曲」の録音にも参加。オペラでも「ドン・ジョヴァンニ」「ルル」「こうもり」等多数の作品で表現豊かな演習を披露し、確かな技巧と深みのある解釈で聴衆を魅了している。洗足学園音楽大学非常勤講師。

KEIBUN第九合唱団 (合唱)

1985年、しがぎん経済文化センター (KEIBUN) 創立1周年記念に開催した第九演奏会の合唱団として創設。以後、毎年公募合唱団として活動し、コロナ禍の中断を乗り越え本年2026年に第40回記念公演を迎えた。これまでに第1回の山田一雄をはじめ、小林研一郎、秋山和慶、井上道義、尾高忠明、ゲルハルト・ボッセ、ユベール・スターンなど、多くの著名指揮者との共演を重ねている。



合唱指揮: 大谷圭介。
合唱指導: 中嶋康子、福嶋あかね、森 季子
合唱副指揮: 宅間 司
ピアニスト: 大塚千草、神永強正、岸本佳美
中島佳子、西村祐美、宮本蓮花

大阪フィルハーモニー交響楽団 (管弦楽)

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で創立、1960年改称。2018年4月、尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホール(大阪・中之島)を中心に全国各地で演奏活動を展開している。2024年4月より、クラリネット奏者のダニエル・オッテンザマーがアーティスト・イン・レジデンスに、2025年4月より、松本宗利音が指揮者に就任。2027年創立80周年を迎える。



<https://www.osaka-phil.com>

《プレイガイド》

■しがぎん経済文化センター TEL.077-526-0011
(平日9:30～17:00)

<https://www.keibun.co.jp> KEIBUN 検索



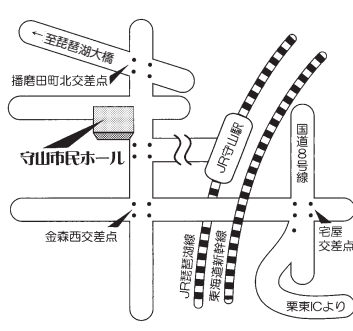
■守山市民ホール TEL.077-583-2532
(9:00～17:00 火曜及び祝日の翌日は休館)

<https://moriyamabuntai.com/wp/>

■チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (PC&携帯)
(Pコード:335-242)

■ローソンチケット <https://l-tike.com> (PC&携帯)
(Lコード:55890)

■e+ (イープラス) <https://eplus.jp/> (PC&携帯)



《会場》

守山市民ホール

〒524-0051
滋賀県守山市三宅町125番地
TEL.077-583-2532
FAX.077-583-3189
<https://moriyamabuntai.com/wp/>

《アクセス》

○バス:
JR守山駅(西口)より近江鉄道バス「市民ホール前」下車すぐ
○車:
名神高速 栗東インターチェンジより15分

